

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名 事業所名	社会福祉法人かたばみ会 多機能施設かたばみ荘	代表者 管理者	佐藤 淳司 佐藤 千代樹	法人・事業所の特徴	事業所は光ヶ丘の高台に位置し、窓からは海岸線も見え、日本海に沈む美しい夕日を眺めることができる。住み慣れた自宅でいつまでも過ごすことができるよう、生活リハビリや必要な介護をご家族と一緒に作り上げています。また、重度の要介護状態になっても同法人で運営する特別養護老人ホームかたばみ荘と連携を図り、支援が可能。					
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
A. 事業所自己評価の確認	前回の改善計画			前回の改善計画に対する取組み・結果			意見			今回の改善計画
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所自己評価で検討し計画された<事業所自己評価の次回までの具体的な改善計画9項目>と<総括表の地域かかわりシート改善計画6項目>を一つにまとめて<多機能かたばみ荘活動計画>としてワーカー室に掲示する。 職員がいつでも取り組み内容を確認できるようにしていく。			<第5回運営推進会議について:全国的な新型コロナウイルス感染状況や山形県における新型コロナ対応目安「注意・警戒レベル」がレベル4の状況等から、文書による情報提供での開催の実施となる。> ・チェック項目3については、第6回運営推進会議内にて推進委員の皆様へ写真にて掲示状況を確認していただく。			・ワーカー室内の今年度計画掲示状況は未確認(掲示写真の配布) ・今年度はコロナ過の為、実施、開催されなかった項目が多い状態であった。項目によっては今年度の計画を来年度に引き継ぐ形の部分もある状況です。 <次回までの具体的な改善計画9項目><地域かかわりシート改善計画6項目>については全ての元になる項目となる為、来年度も継続をと考えている。			事業所で検討し計画された<次回までの具体的な改善計画9項目>委員の皆様より頂いた意見から計画した<地域かかわりシート改善計画6項目>をワーカー室に掲示する。 職員がいつでも計画の取り組み内容を確認できるようにしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	利用者、職員が共に過ごしやすい、居心地のいい空間にしていく。 現在の環境より一歩良くする取り組みを考えていく。「同事業所間との交流研修」などで得た情報を有効に活用していく。			・今年度はコロナ過により運営推進会議はソーシャルディスタンスにより特養会議室での開催となった。 委員の皆様からは事業所内の空間について直接確認できない状況であった。コロナ対策により、テーブル配置や利用者様同士の会話はし難い環境となっている状況である。 ・来年度に向けては、事業所でのコロナ対策の状況を国や市と都度確認しながら居心地の良い環境作りをしていく。 ・合わせて「同事業所間との交流研修」については自事業所と相手と状況確認しながら実施の有無を判断していく。			・同事業所間の交流研修の状況は未確認(コロナ過の為実施していない)			状況に合わせたコロナ対策を都度確認しながら、利用者、職員が共に過ごしやすい、居心地のいい空間にしていく。環境を一歩でも良くする取り組みを事業所内で考えていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域資源の活用から、松陵いこいの場への参加計画や、隣のドラッグストアへの買い物など、個別支援も踏まえて地域への参加を行っていく。			・地域交流は今年度行えない状況であった。 ・地域資源の活用では、ドラッグストアへの必要物品の買い物支援や、買い物同行支援を自宅に帰れない利用者や一人暮らしの利用者を中心に週に1回程度行っている。 ・多機能施設かたばみ荘通信を今年度も作成し、事業所内に設置準備し相談者にお渡ししている。又居宅介護支援事業所にも配布している。来年度も引き続き事業所を知つていただく動きを考えていく。			・コロナの為、地域行事への参加は難しかったと思います。			<多機能施設かたばみ荘通信>を作成し配布する。地域の方々や来荘者、サービス事業所等へ通信の配布と説明をしていくことで事業所を知つていただく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	申し送り時にエコマップを準備し、新しい個別情報を追加記入していく。 カンファレンス時はエコマップの情報を参加職員で確認して、個別プランに入れて行く。			・エコマップの意味や新たな記入に至らない職員が多かった為、事業所内での自己評価時に再度説明している。 ・地域の行事やイベントへの参加はできなかった。 ・利用者様から買い物ドライブの意見が多く、計画実施したが途中で庄内地区発生を確認し中止となっている。 ・毎年エコマップの10項目でできていない判断がある事から、利用者一人一人の10項目記入を計画とする。			・事業所自己評価（別紙2-2）事-⑤を評価し、取り組み不足と判断した。 ・前回の改善計画に対する取組結果 →<エコマップの新しい情報の追加できていない職員が7名。エコマップの意味の理解ができていない職員が数名いる。>			利用者全員のエコマップに以前の暮らし方の把握として10個以上を記入する。都度申し送り内でエコマップ確認することで自宅での日常生活の支援に繋げていく。
F. 事業所の防災・灾害対策	運営推進会議で出された内容を、運営推進会議ファイルに綴り回観している。 会議内で頂いた地域の活動情報等から、了承を頂きながら参加を計画していく。			・ケアワーカーが運営推進会議に参加することで、利用者と家族、地域の方々へ事業所として出来ることの相談につなげたい。 しかし今年度は現場から職員が参加する事は一度もできない状況であった。			・運営推進会議内で地域の心配事等も議題に挙げていきたい。			運営推進会議へのケアワーカーの参加。地域の状況を確認し事業所のできることを考えていく。
	自然災害時の事業所の対応について事業所内で相談確認していく。 独居の方への避難支援対応の動きを地域の担当民政委員等に確認してスムーズに動けるようにする。			・今年度は委員の皆様の訓練参加はできなかった。 ・独居の方の避難支援対応についても民生委員への確認ができていなかった。 ・年間5回(2月、3月予定含む)の災害訓練と、消防署参加の総合訓練を実施する。 ・コロナ発生訓練をゾーニングしながら1月に実施している。			・法人全体で津波災害の総合訓練を机上で実施している。 来年度は実際に地域と連携し行えるように考えている。			一人業務時間帯で落ち着いて災害時の行動ができるように、ケアワーカー全員で訓練に参加する。非常災害マニュアルの確認を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	
実施日 令和2年10月14日(19:00~20:50)	
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	
◆前回の改善計画に対する取組み状況	

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
① 前回の課題について取り組みましたか?		1人	8人	1人	人	10人

前回の改善計画

「カンファレンス実施の際は「～したい」を追加する。」
利用者から事業所でのサービス希望を聞き取り、利用者と職員が共に過ごしやすい居心地の良い空間にしていく。現在のサービス、環境より一歩良くする取り組みを考えていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

コロナ過で厚生労働省の通達を確認しながら感染予防対策を行い、個別支援に取り組んでいる。

花や野菜への水やり、ピアノ演奏、裁縫、手仕事、テーブル拭き、予防対策行いながら買い物同行支援等行っている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかつていますか?		9	1			10
② 本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか?	1	8	1			10
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができるていますか?		6	4			10
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか?		9	1			10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者個々のカンファレンス内で「～したい」の聞き取りができる。
・本人の希望、要望の聞き取りと実現に向けて動いている。

できない点 200字程度で、できないことと、その理由を記入すること

・聞き取りが記録に反映されていない為、情報共有されていないと思う。
・個々の支援への取り組み内容について:
特に午前の支援内容について、塗り絵の時は全員塗り絵、脳トレ計算問題の時は全員脳トレしている事が多い。
・利用者からの発信に対して、業務都合で出来る出来ないの判断をしている様に見える。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

意見箱やアンケートの実施などで「～したい」の希望と要望の聞き取りを行う。
本人、家族へ趣味や好きな事等を聞き取り、在宅生活の継続に向けて取り組んでいく。

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	
------------------	--

1. 初期支援(はじめのかかわり)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできっていない	合計(総人數)
① 前回の課題について取り組みましたか?		3人	7人	0人	0人	10人

前回の改善計画

「初期支援の必要な情報は「アセスメント様式」の項目とする。」(食事、入浴、排泄、移動、医療、精神など)

「アセスメント様式」にすることにより、初期支援で何について入力すればよいか迷わない様にし、初期支援時の入力漏れを防いでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用開始され初期情報について、必要な情報を理解して情報を共有するため記録がほぼできている。
記録漏れがある際は職員間で入力の指摘している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできっていない	合計(総人數)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		3	7			10
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができますか?		2	8			10
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?		3	7			10
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		3	7			10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職員間で情報共有し現状の支援について検討を行えている。
- ・初期支援時の情報を「アセスメント様式」にすることで「何を入れなければならないのか分からない」の声が無くなった。
- ・ケアワーカーが事前面談に同行し、現場に必要な情報の聞き取りができる。

できない点 200字程度で、できないことと、その理由を記入すること

- ・初期支援時の細かい情報の不足や、介護者の不安への聞き取りが不足しているとの意見もあるが、ケアに必要な情報の聞き取りに絞り(アセスメント様式)ご本人の他者には必要のない複雑な生活歴や人間関係など細かい情報とは分ける。
- ・「記録することを忘れてしまう」が少数意見ある。全職員が仕事に入る際に業務日誌を確認している。情報漏れを引き続き指摘して入力を促していく。
- ・利用者一人一人の「利用者個別援助一覧表」の初期支援時の情報記入が、日誌の記録とは別になるため記録が無い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

新規利用を開始してから一ヶ月を目途にカンファレンスを開催する。
カンファレンスで「アセスメント表」と「ケア記録一覧」を確認し、「アセスメント表」に手書きで修正する。修正した「アセスメント表」は「利用者個別援助一覧表」作成に活用する。
初期支援時の必要な情報は引き続き「アセスメント」項目内容とする。(食事、入浴、排泄、移動、医療、精神など)

事業所自己評価・ミーティング様式	
実施日	令和 2年 10月 14日 (19:00~20:50)
4. 地域での暮らしの支援	

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできっていない	合計 (総人數)
① 前回の課題について取り組めましたか?	2人	7人	1人	人	10 人	

前回の改善計画

「職員は、各利用者のアセスメントを確認して基本情報を把握する。」
昼の申し送り時に、送迎担当職員が家族に確認すべき事を話し合い、担当職員が聞き取りして記録する。カンファレンスで記録を確認する。

前回の改善計画に対する取組み結果

申し送り時に確認事項がある際は、送迎職員へ確認すべき事を話し合い家族へ聞き取りしている。
次回利用時の家族への依頼など職員間で確認し合えている。
7月移動職員以外はアセスメント基本情報を概ね把握している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	2			10
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	7	2			10
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	5			10
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		7	3			10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

家族との情報を密にして本人の生活スタイルの把握に努めている。
訪問サービス利用者、独居の利用者の生活状況や人間関係は特に把握するように努めている。

できない点 200字程度で、できないことと、その理由を記入すること

通い宿泊サービスのみの利用者の自宅の生活の様子が分からぬ所がある。
もっと多くの情報を頂くにはどうすればよいか悩むところがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

家族に確認すべき事を申し送り内で相談する。送迎職員等が聞き取り報告する。
支援に必要な情報(アセスメント様式など)を家族から聞き取りすること。
(聞き取りの際は、プライバシーの侵害に繋がらないようにする)

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	
実施日	令和 2年 10月 14日 (19:00~20:50)
3. 日常生活の支援	

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
① 前回の課題について取り組めましたか?	3人	7人	0人	0人	10 人	

前回の改善計画

「ケアマニュアル(食事、入浴、排泄)を日々の業務の基本とする。」
新しいCWへの基本資料として配布し、OJTに活用していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

「ケアマニュアル」作成し、食事、入浴、排泄の基本的支援方法を作成している。
利用者一人一人の「個別援助一覧」を作成している。
今後新しく勤務するケアワーカーへのOJTに活用していく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	5	3	1	10	
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか?	6	4			10	
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できますか?		10			10	
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	5			10	
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できますか?	3	6	1		10	

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

基礎的な介護はできている。
基本業務が確立されている。
利用者の体調変化、気持ちの変化に申し送り等で情報共有できている。

できない点 200字程度で、できないことと、その理由を記入すること

以前の暮らし方について、10個以上把握できているかの捉え方の違いから利用者全員の10個以上を把握できていないと判断したCWが今年度4名いる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者全員のエコマップに以前の暮らし方の把握として10個以上を記入する。
(毎年できていないのチェックが4割くらいある為、対策とする。)

事業所自己評価・ミーティング様式
6. 連携・協働

◆前回の改善計画に対する取組み状況					
個人チェック項目集計欄					
	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
① 前回の課題について取り組みましたか？	2人	6人	2人	0人	10人

◆前回の改善計画

「サービス担当者会議の開催前に、担当者会議録原紙を回覧する。」
各CWは、家族への確認事項や検討課題などを事前に書き込んでいく。
「運営推進会議の会議録はファイルに綴り回覧する。」
運営推進会議内で得た地域の活動情報には、了承を得ながら参加計画していく。(松陵いこいの場など)

◆前回の改善計画に対する取組み結果

サービス担当者会議の開催前に必要な情報は、記入は少ないが概ね申し送り内で確認できている。
ケアワーカーも自宅での会議に参加し現場目線での情報を確認している。
運営推進会議はコロナ過の為、予防対策で特養会議室での開催となっておりケアワーカーの参加はできない状況。

◆今回の自己評価の状況					
確認のためのチェック項目					
	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	2	5		3	10
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？				10	10
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	2	2	1	5	10
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	1	8	10

◆できる点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

入退院時等サービス事業者との会議できている。
自治体、包括等の会議はコロナ過や必要性などから参加は無し。
合同消防訓練計画している。
利用者以外の相談も都度行い、必要時の関係機関への報告している。

◆できない点

200字程度で、できないことと、その理由を記入すること

コロナ過の中で会議等の計画が無い状況が長く続いた。
現在参加しなくても情報共有される方法等の動きが出てきている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

サービス担当者会議、運営推進会議等へのケアワーカーの参加。
事前に会議録への必要事項の記入と、申し送り時の確認を行い、現場目線での支援情報を獲得していく。

事業所自己評価・ミーティング様式
5. 多機能性ある柔軟な支援

◆前回の改善計画に対する取組み状況					
個人チェック項目集計欄					
	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできっていない	合計(総人數)
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	2人	6人	1人	10人

◆前回の改善計画

「届の申し送り時に、エコマップを開きながら進行する。」
得た情報を随時エコマップに追加し、利用者の個別支援に対応する。

◆前回の改善計画に対する取組み結果

エコマップの活用や新しい情報の追加ができる職員が7名。
エコマップの意味を理解できていない職員も数名居る。会議内で、利用者の情報や関係性が一目で分るツールの説明している。

◆今回の自己評価の状況					
確認のためのチェック項目					
	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	7			10
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5	5			10
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	5	5			10
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか？	6	4			10

◆できる点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

「今回の自己評価の状況4項目」を職員はほぼ対応できている。
都度の本人や家族の要望や状況の変化に対してサービス提供できている。
当日の利用者の状態を情報共有し対応している。
コロナ過への変化にも対応している。

◆できない点

200字程度で、できないことと、その理由を記入すること

申し送り時にエコマップの活用していない。
エコマップの情報から新たな個別支援に繋がるケースが少ないとと思う。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

申し送り時にデスクにエコマップを開き、支援に必要な得た情報を記入していく。
エコマップとは、本人の生活地図。情報を得る為の取っ掛かりになる物。情報を「見える化」し、支援の為の情報を誰から何処から確認できるのかが一目で分る物。

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年10月14日 (19:00~20:50)			
8. 質を向上するための取組み					
メンバー	五十嵐重明、佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則、佐藤美紀、相蘇亮、兵藤則子、阿部由佳、佐藤睦、荒生稻子、高橋英子				
◆前回の改善計画に対する取組み状況					
個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
① 前回の課題について取り組みましたか？	0人	7人	2人	1人	10人

前回の改善計画

「発表会や交流研修など、職員のスキルアップへの取り組みを行っていく。」
自然災害時の事業所対応を相談確認し、有事の際に職員一人ひとりが対応できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

同事業所との交流会は、今年度はコロナ過での中止とする。
昼の申し送り時間を例年より多くとり、スキルアップの機会を得る為に「ケアマニュアル」「個人マニュアル」の作成をしてきた。
11月に消防署の協力のもと多機能避難訓練を計画している。訓練前にマニュアル確認し、実際の訓練に活かしていく。(利用者も参加していく)

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	2	2	10	
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	4	3	10	
③ 地域連絡会に参加していますか				10	
④ リスクマネジメントに取組んでいますか	1	9		10	

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

カンファレンス内で利用者のリスク確認、ヒヤリハット、事故報告、緊急時マニュアルに沿って対応している。
リスクマネジメントとして実際にシミュレーションを行い確認している。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

外部研修、内部研修、多機能職員会議などスキルアップの機会は少ない。
地域連絡会は開催されていない無い為、項目のチェックは無し。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

一人業務時間帯で落ち着いて緊急時対応を行うために。
体調不良・事故・緊急時リスクマネジメント・コロナウイルス感染対策の内部研修の計画実施。

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年10月14日 (19:00~20:50)			
7. 運営					
メンバー	五十嵐重明、佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則、佐藤美紀、相蘇亮、兵藤則子、阿部由佳、佐藤睦、荒生稻子、高橋英子				
◆前回の改善計画に対する取組み状況					

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできっていない	合計 (総人數)
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	3人	1人	10人

前回の改善計画

「全職員が参画意識を持って運営に携われるようになる。」「法人理念」「契約書」「重要事項説明書」「多機能かたばみ荘活動計画」「利用案内の説明事項」を業務日誌やワーカー室で閲覧できるようにし、定期的に全職員で確認作業をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

正面玄関に「法人理念」、ワーカー室に「令和2年度多機能かたばみ荘活動計画」、業務日誌に「契約書」「重要事項説明書」「ご利用案内」「利用の手引き」をトップページに綴っており、毎日確認できる様にしている。
業務日誌の日々のケース記録のみ確認し、契約書等を目を通していないかったケアワーカーも居た。
今後確認作業を全職員で身になっていく様に確認していく。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	7	1		10
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	7			10
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	7		1	10
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	5	2	2	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

今年度の苦情処理件数は0件、昨年は1件(人工肛門ラバックの返し忘れ)
本人、家族からの意見にはすぐに対応している。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

本年度はコロナ過の中で地域への参加ができない状況であった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

小規模多機能型居宅介護サービスを、本人、家族、相談者に説明できる職員になる。
「法人理念」「契約書」「重要事項説明書」「多機能かたばみ荘活動計画」「利用案内の説明事項」を確認する。
職員は、本人、家族、相談者へ「多機能とは」「利用料金」「契約の内容」などの質問に説明できる。

(別紙2-3)

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価(地域かかわりシート①)は、A~Fまでの6項目となります。
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に□を記入ください。
わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、
当日記入いただいても結構です。
- B~Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に□を記入し、
運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって
必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になってしまっても、介護が必要となってしまっても、
安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認(該当部分に✓を入れてください)

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか?			
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか? ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい			
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか? 【前回の改善計画】 事業所自己評価で検討し計画されたく次回までの具体的な改善計画9項目><地域かかわりシート改善計画6項目>を一つにまとめワーカー室に掲示する。 職員がいつでも取り組み内容を確認できるようにしていく。			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか?			

B. 事業所のしつらえ・環境(該当部分に✓を入れてください)

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】 利用者、職員が共に過ごしやすい、居心地のいい空間にしていく。 現在の環境より一步良くする取り組みを考えていく。 「同事業所間との交流研修」などで得た情報を有効に活用していく。			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか?			
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか?			
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか?			
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか?			

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	令和2年10月14日(19:00~20:50)
9. 人権・プライバシー			メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況				
個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	0人	0人

前回の改善計画				
---------	--	--	--	--

「ケアマニュアル」に「尊厳とプライバシー」を盛り込む。
食事、入浴、排泄介助のケアマニュアルでは、利用者の尊厳とプライバシーに配慮する。(環境・声掛けと同意・介助方法)
職員全員がケアマニュアルに即し、統一した対応を図っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果				
------------------	--	--	--	--

ケアマニュアル(食事ケア、入浴ケア、排泄ケア)作成の際に、尊厳とプライバシーに配慮する項目を入れている。
「ケアマニュアル」を基本として統一した対応ができる。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	10					10
② 虐待は行われていない	10					10
③ プライバシーが守られている	4	6				10
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	5	4		1		10
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	6	4				10

できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束、虐待は行われていない。 成年後見制度の支援を包括より強力を頂き動いている。 プライバシーの配慮がほぼできている。		

できていない点		200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の尊厳とプライバシーへの配慮で、夜間帯で事故リスクから居室ドアを開けているケース、トイレへの声掛けの不適切なケース、利用者の食事のペースを業務都合から声掛けしてしまうケース等があった。		

次回までの具体的な改善計画		(200字以内)
尊厳とプライバシー、個別支援の理解を深める。 業務優先から、職員側の都合から、不快な思いをさせない。尊厳とは?プライバシーとは?個別支援とは?を勉強していく。		

E. 運営推進会議を活かした取組み(該当部分に✓を入れてください)

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】 運営推進会議で出された内容を、運営推進会議ファイルに綴り回覧している。 会議内で頂いた地域の活動情報等から、了承を頂きながら参加を計画していく。			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか?			
2	運営推進会議では、地域で心配である方等の事例検討が行われていますか?			
3	運営推進会議では、地域での取組みと一緒に取組もうとしていますか?			
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか?			

F. 事業所の防災・災害対策(該当部分に✓を入れてください)

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】 自然災害時の事業所の対応について事業所内で相談確認していく。 独居の方への避難支援対応の動きを地域の担当民生委員等に確認してスムーズに動けるようにする。			
1	事業所の防災計画(火災・風水害・地震等)を知っていますか?			
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか?			
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか?			
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか?			

以上で終了です。ありがとうございました。

C. 事業所と地域のかかわり(該当部分に✓を入れてください)

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】 地域資源の活用から、松陵いこいの場への参加計画や、隣のドラッグストアへの買い物など、個別支援も踏まえて地域への参加を行っていく。			
1	職員はあいさつできていますか?			
2	事業所は、地域の方に知られていますか?			
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか?			
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか?			

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み(該当部分に✓を入れてください)

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】 申し送り時にエコマップを準備し、新しい個別情報を追加記入していく。 カンファレンス時はエコマップの情報を参加職員で確認して、個別プランに入れて行く。			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか?			
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか?			
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか?			
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか?			

(別紙2-3)

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	3		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

<第5回運営推進会議について:全国的な新型コロナウイルス感染状況や山形県における新型コロナ対応目安「注意・警戒レベル」がレベル4の状況等から、文書による情報提供での開催の実施となる。>今年度はコロナ過により運営推進会議はソーシャルディスタンスにより特養会議室での開催となった。委員の皆様からは事業所内の空間について直接確認できない状況であった。コロナ対策により、テーブル配置や利用者様同士の会話はし難い環境となっている状況である。来年度に向けては、事業所でのコロナ対策の状況を国や市と都度確認しながら居心地の良い環境作りをしていきたい。合わせて「同事業所間との交流研修」については自事業所と相手と状況確認しながら実施の有無を判断していきたい。

【前回の改善計画】

利用者、職員が共に過ごしやすい、居心地のいい空間にしていく。現在の環境より一歩良くする取り組みを考えていく。「同事業所間との交流研修」などで得た情報を有効に活用していく。

・同事業所間の交流研修の状況は未確認。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

状況に合わせたコロナ対策を都度確認しながら、利用者、職員が共に過ごしやすい、居心地のいい空間にしていく。環境を一歩でも良くする取り組みを事業所内で考えていく。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	4		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	4		
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	3		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※ 結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過(姿勢)に対する意見

<第5回運営推進会議について:全国的な新型コロナウイルス感染状況や山形県における新型コロナ対応目安「注意・警戒レベル」がレベル4の状況等から、文書による情報提供での開催の実施となる。

> チェック項目3については、第6回運営推進会議内にて推進委員の皆様へ写真にて掲示状況を確認していただく。

【前回の改善計画に対して意見】

※ 前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

事業所自己評価で検討し計画されたく次回までの具体的な改善計画9項目><地域かかわりシート改善計画6項目>をワーカー室に掲示する。職員がいつでも取り組み内容を確認できるようにしていく。

ワーカー室内の今年度計画掲示状況は未確認。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※ 今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

今年度はコロナ過の為、実施、開催されなかった項目が多い状態であった。項目によっては今年度の計画を来年度に引き継ぐ形の部分もある状況です。<次回までの具体的な改善計画9項目><地域かかわりシート改善計画6項目>については全ての元になる項目となる為、来年度も継続をと考えている。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

事業所で検討し計画されたく次回までの具体的な改善計画9項目>委員の皆様より頂いた意見から計画したく地域かかわりシート改善計画6項目>をワーカー室に掲示する。職員がいつでも計画の取り組み内容を確認できるようにしていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	1	
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	2		2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	1		3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

<第5回運営推進会議について:全国的な新型コロナウイルス感染状況や山形県における新型コロナ対応目安「注意・警戒レベル」がレベル4の状況等から、文書による情報提供での開催の実施となる。>エコマップの意味や新たな記入に至らない職員が多くいた為、事業所内での自己評価時に再度説明している。地域の行事やイベントへの参加はできなかった。利用者様から買い物ドライブの意見が多く、計画実施したが途中で庄内地区発生を確認し中止となっている。毎年エコマップの10項目でできていないの判断がある事から、利用者一人一人の10項目記入を計画とする。

【前回の改善計画】

申し送り時にエコマップを準備し、新しい個別情報を追加記入していく。カンファレンス時はエコマップの情報を参加職員で確認して、個別プランに入れて行く。

・事業所自己評価（別紙2-2）事-⑤を評価し、取り組み不足と判断した。前回の改善計画に対する取組結果→<エコマップの新しい情報の追加できない職員が7名。エコマップの意味の理解ができていない職員が数名いる。>

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

利用者全員のエコマップに以前の暮らし方の把握として10個以上を記入する。都度申し送り内でエコマップ確認をすることで自宅での日常生活の支援に繋げていく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	1	
1	職員はあいさつできていますか？	4		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

<第5回運営推進会議について:全国的な新型コロナウイルス感染状況や山形県における新型コロナ対応目安「注意・警戒レベル」がレベル4の状況等から、文書による情報提供での開催の実施となる。>地域交流は今年度行えない状況であった。地域資源の活用では、ドラッグストアへの必要物品の買い物支援や、買い物同行支援を自宅に帰れない利用者や一人暮らしの利用者を中心に週に1回程度行っている。多機能施設かたばみ荘通信を今年度も作成し、事業所内に設置準備し相談者にお渡ししている。又居宅介護支援事業所にも配布している。来年度も引き続き事業所を知っていただく動きを考えていく。

【前回の改善計画】

地域資源の活用から、松陵いこいの場への参加計画や、隣のドラッグストアへの買い物など、個別支援も踏まえて地域への参加を行っていく。

・コロナの為、地域行事への参加は難しかったと思います。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

<多機能施設かたばみ荘通信>を作成し配布する。地域の方々や来荘者、サービス事業所等へ通信の配布と説明をしていくことで事業所を知っていただく。

F. 事業所の防災・灾害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	事業所の防災計画(火災・風水害・地震等)を知っていますか？	4		
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2		2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1		3
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

<第5回運営推進会議について:全国的な新型コロナウイルス感染状況や山形県における新型コロナ対応目安「注意・警戒レベル」がレベル4の状況等から、文書による情報提供での開催の実施となる。>今年度は委員の皆様の訓練参加はできなかつた。独居の方の避難支援対応についても民生委員への確認ができていなかつた。年間5回(2月、3月予定含む)の災害訓練と、消防署参加の総合訓練を実施する。コロナ発生訓練をゾーニングしながら1月に実施している。

【前回の改善計画】

自然災害時の事業所の対応について事業所内で相談確認していく。独居の方への避難支援対応の動きを地域の担当民生委員等に確認してスムーズに動けるようにする。

【「事業所の防災・灾害対策」をテーマにした自由意見】

法人全体で津波災害の総合訓練を机上で実施している。来年度は実際に地域と連携し行えるように考えている。

【改善計画】※ 後日記入

一人業務時間帯で落ち着いて災害時の行動ができるように、ケアワーカー全員で訓練に参加する。非常災害マニュアルの確認を行う。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4		
2	運営推進会議では、地域で心配である方等の事例検討が行われていますか？	2		2
3	運営推進会議では、地域での取組みと一緒に取組もうとしていますか？	1		3
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	3		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

<第5回運営推進会議について:全国的な新型コロナウイルス感染状況や山形県における新型コロナ対応目安「注意・警戒レベル」がレベル4の状況等から、文書による情報提供での開催の実施となる。>ケアワーカーが運営推進会議に参加することで、利用者と家族、地域の方々へ事業所として出来ることの相談につなげたい。今年度は現場から職員が参加する事は一度もできない状況であった。

【前回の改善計画】

運営推進会議で出された内容を、運営推進会議ファイルに綴り回覧している。会議内で頂いた地域の活動情報等から、了承を頂きながら参加を計画していく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

運営推進会議内で地域の心配事等も議題に挙げていきたい。

【改善計画】※ 後日記入

運営推進会議へのケアワーカーの参加。地域の状況を確認し事業所のできることを考えていく。